

# ロシアの eCall～ ERA GLONASS の影響と その要件



## ロシアで 2013 年以降に eCall を義務化へ

ロシアは、今や世界最重要市場の上位4位に入る市場として多くの自動車メーカーから関心を集めています。またテレマティクス関連のインフラや要件においては、非常にユニークな特性をもつ国でもあります。そのロシアにおいて現在、2013 年以降全ての新規型式認証車両にロシア版 eCall「ERA GLONASS（ロシアの衛星測位システムを利用した緊急支援サービス）」の搭載を義務づける法案が提出されています。SBD では、2017 年までには年間約240 万台のテレマティクス装置が販売されるようになると予測しています。

この度 SBD では、ロシアでのこの法案制定のプロセス、技術要件、さらに自動車メーカーにとってのビジネス面での影響について最新状況をまとめたレポートを発行しました。

本レポートでは、ERA GLONASS 運用に緊密に関わる専門家からの情報に基づいて、サービスアーキテクチャから通信要件、車載ハードウェア要件までを含めた上記法案の技術要素を解説します。またこの新たな法案に基づき、自動車メーカーにはどのような対応が求められるか、欧州公共eCallとの関係はどうなるか、長期的にみてどのようなビジネスチャンスが期待できるか、についても検証します。



本書では下記の内容を取り上げています。

- ERA GLONASS 義務化の背景にある法的要素、政治的プロセスおよび牽引要因
- 当該法案のサービス面、通信面、ハードウェア面の要件に準拠するうえでの提案
- SBD の推奨する短期的・長期的戦略
- 予測されるロシアテレマティクス業界の成長、各種付加価値サービスの可能性についての検証

詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

SBD ジャパン

担当：近藤 真子

E メール：mkondo@sbdjapan.co.jp

Tel：052-253-6203



## 2017年までに、テレマティクスシステムの販売台数は年間推定 240万台に

2009年、ロシア政府は交通関連事故への緊急通報対応を目的とした全国的な緊急コールサービスの設置を決定しました。このサービスはERA GLONASS(ロシア衛星測位システムを利用した緊急支援サービス)と呼ばれ、2013年の導入を予定しています。ERA GLONASSは、車が事故直後に車両位置情報を緊急サービスに送信できるようにするものです。ロシア議会は、自動車メーカーに対し2013年1月以降に型式認定を受ける全新型車を対象に、適合 eCall TCU の搭載を義務づける予定です。

この法律は交通事故の死傷者数増加の対策として導入されるものですが、同時に GLONASS 対応車載システムの普及を推進する目的も担っています。GLONASS はロシア政府高官が重要な戦略的商用資産と捉えていることから、GLONASS が低価格 GPS ソリューションに対抗するよう政治的に強力な圧力がかけられています。

---

**ロシア議会では、2011年第2四半期中に ERA GLONASS 義務化の採決が行われる予定です。  
与党多数によりこの法案に対する反対はほとんどないと見られ、  
可決されれば義務化は 2013年1月から施行されることとなります。**

---

自動車メーカーは、2013年1月以降に型式認定された全新型車に ERA GLONASS システムを搭載・メンテナンスしなければなりません。規定された技術の多くは欧州の公共 eCall 計画のそれと互換性があるものの、自動車メーカーは車が静止している状態での衝突検出および衝突データ記録の要件に対応するため、ロシア固有のソリューションをある程度開発する必要があります。スケジュールがタイトなため、自動車メーカーはまず、現行草案で認められているディーラー組み付けソリューションのみを提供することになると思われます。

短期的には市場はディーラー組み付けによる eCall ソリューションが中心になると思われますが、義務化導入後数年でライン装着システムの割合が増えると SBD では見えています。また、ERA GLONASS システムは追加サービス(盗難車回収や走行距離連動型保険)にも対応できるため、民間テレマティクスサービスの普及が加速することになると予想されます。

ロシアでは、公共 eCall と追加付加価値サービスの両方を提供する一元化したテレマティクスサービスプロバイダを育成するという、独自のテレマティクス戦略を採っています。短期的には eCall 義務化に伴うハードウェアのコスト増や厳しいスケジュールによって、自動車メーカーにはかなりの負担が強いられるものの、長期的には他の民間テレマティクスサービスを提供してシステムコストを回収するチャンスがあると思われます。

### 本レポートで取り上げる課題:

- ロシア政府が ERA GLONASS を強力に後押しする理由は? また 2013年までに法案が実際に成立する見込みは?
- 法案が成立した場合、自動車メーカーは具体的にどのような装置を車両に搭載する必要があるのか? また自動車業界としては法令順守のためどのような戦略をとるのがベストか?
- 法案施行後に予想されるテレマティクス装置搭載率の伸びは? ロシアでのより広範囲なテレマティクス事業性に与える影響は?

# »» ...know what tomorrow brings

## 目次

### 1. 要旨

- 1.1 はじめに
- 1.2 要点サマリー-60-second summary of conclusions
- 1.3 主なポイントのまとめ

### 2. 法制化プロセス

- 2.1 はじめに
- 2.2 背景および牽引要因
- 2.3 ERA GLONASS の法的構成要素
- 2.4 スケジュールと遅延のリスク

### 3. 法的要件の技術的概要

- 3.1 はじめに
- 3.2 サービスアーキテクチャ
- 3.3 通信要件
- 3.4 車載ハードウェア要件

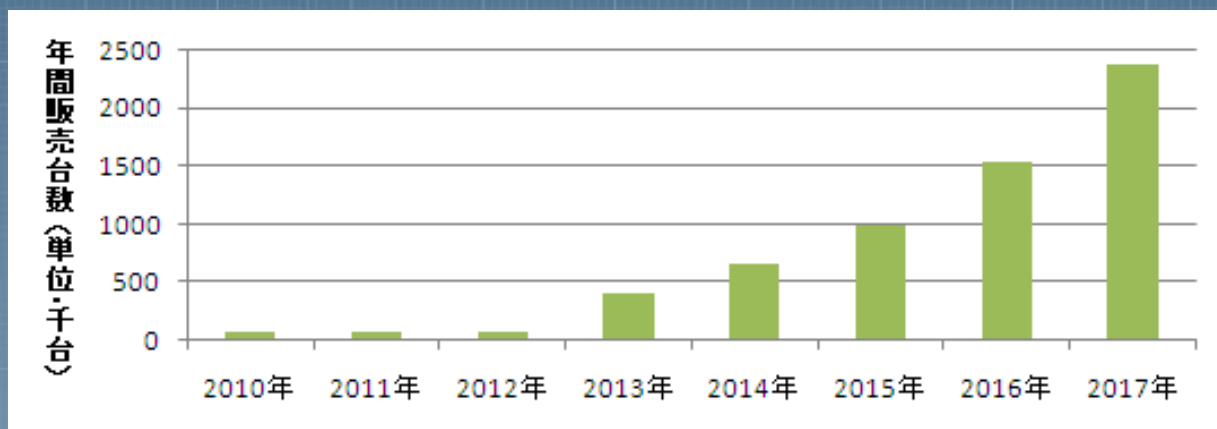
### 4. 自動車業界への影響

- 4.1 はじめに
- 4.2 ロシアに適合したシステムの開発
- 4.3 ロシアと EU に適合したシステムの開発
- 4.4 ERA GLONASS で他のテレマティクスサービスも提供
- 4.5 ロシアにおけるテレマティクス販売予測  
(2010-2017 年)

## 図表一覧

- 図 1. NIS の構成
- 図 2. ERA GLONASS の法的構成要素
- 表 3. 車載装置に関する法律
- 図 4. ERA GLONASS の導入予定表
- 図 5. ERA GLONASS のサービスアーキテクチャ
- 図 6. ERA GLONASS の IT インフラ
- 図 7. ERA GLONASS の通信アーキテクチャ
- 図 8. 共通の SIM による公共・民間テレマティクスサービス
- 図 9. NIS による公共・民間 eCall の統合
- 図 10. ロシアにおけるテレマティクスシステムの年間販売予測  
(2010-2017 年)

ロシアにおけるテレマティクス年間販売予測(2010-2017 年)



# SBD の基本理念

自動車セキュリティ分野、テレマティクス・ITS 分野、ならびにコスト・オブ・オーナーシップ向上活動分野において最先端の製品開発を深い知識と確かな情報で支援する。

## 本書の著者について



アンドリュー・ハート : ITS & テレマティクスシニアスペシャリスト

ナビゲーションと交通情報の分野の専門家と知られ、自動車メーカーやサプライヤー向けに、欧州における技術、ビジネス、消費者トレンドについての情報を提供している、数々の国際フォーラムのメンバーであり、欧州と日本における ITS 関連の催しでは、しばしばスピーカーを務める。



「ロシアの eCall～ERA GLONASS の影響とその要件」(レポート番号:SBD/TEL/2840) は、下記からご購入オプションをお選びいただけます。

- 日本語対訳版
- 英語版
- マルチユーザー (製本 + PDF)
- シングルユーザー (製本のみ)

価格や内容に関するお問い合わせは右記にて承ります。

### SBD ジャパン

担当 : 近藤 真子  
E メール : [mkondo@sbdjapan.co.jp](mailto:mkondo@sbdjapan.co.jp)  
Tel : 052-253-6203

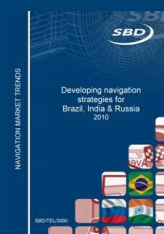
[www.sbdjapan.co.jp](http://www.sbdjapan.co.jp)

## 関連レポート



### 欧州全域 eCall 法制化への対応 (SBD/TEL/2800)

EC(欧州委員会)では、型式認定を受ける全新型車について欧州全域公共 eCall の義務化を内部決定しましたが、これにより欧州のテレマティクス業界はその姿を大きく変えることとなります。本書では、公共 eCall の円滑な導入と普及にあたっての課題等を検証するとともに、自動車メーカーをはじめとする関連企業への義務化への対応について提言します。



### ブラジル、インド、ロシア市場向けナビ戦略の策定 (SBD/TEL/3000)

多くの先進国市場での新車販売台数が飽和状態にある現在、自動車メーカーにとって新興国市場は今後の売り上げを伸ばす上で重要視されています。しかし新興国市場ではユーザーニーズや、ナビゲーション機能に対する支払い意欲が各市場により大きく異なります。本書では、各国のナビゲーション市場を詳細に解説・分析しています。



### グローバルナビゲーションデータベース (SBD/TEL/3010)

OE ナビの搭載率は欧米で伸びを継続しており、中国、ブラジル、インド、ロシアといった新興国でも提供され始めています。ナビ業界での様々な技術開発に伴い、特に通信型のナビが導入されたことによって、市場の動向を把握することがますます重要視されています。当データベースでは、欧州、米国、中国、ブラジル、インド、ロシアで自動車メーカーが提供している OE ナビについて、其の概要を車種別にまとめています。